

2020年10月の行事予定表

1	木	祈祷会	16	金	
2	金		17	土	
3	土		18	日	礼拝式
4	日	礼拝式(聖餐式)、教会役員会	19	月	
5	月		20	火	
6	火		21	水	
7	水		22	木	祈祷会
8	木	祈祷会	23	金	
9	金		24	土	
10	土		25	日	礼拝式
11	日	礼拝式、奉仕の日	26	月	
12	月		27	火	
13	木	祈祷会	28	水	
14	金		29	木	祈祷会
15	土		30	金	
			31	土	宗教改革記念日

10月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 日曜日には教会堂へ集まって礼拝を捧げる。会えば挨拶し握手もしたり。一緒に讃美歌を歌い、聖書のお話を聴き共に祈る。時には礼拝後に皆で会食も。
- ◇ コロナ禍では、教会のこうした日常を縮小・休止せざるを得ませんでした。
- ◇ 先日、ラジオから「私たちはコロナが通り過ぎるまで首をすくめて待つだけでいいのでしょうか。コロナがあって良かったこともあった、と言えるようにアンテナを張りませんか」と聞こえたとき、ハッとしました。
- ◇ 今号「いかがお過ごしですか？」特集のおひとりおひとりのコメントを、愛おしく指でなぞって読む私がいきました。

教会月報

2020年10月
No.353

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

主の聖餐

『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福してそれを裂き、弟子たちに与えて言われた。これは私の体である。』また杯を取り、感謝を献げて彼らに与え、言われた。『皆、この杯から飲みなさい。これは罪が赦されるように、多くの人のために流される、私の契約の血である。』 マタイ福音書 26章 26節—28節

10月第一主日(日曜日)は、世界聖餐日です。世界中のキリスト教会(カトリック教徒もプロテスタント教会もすべてを包含します)では、神の子イエス・キリストが十字架上で、私たちの身代わりとなって下さった贖いを感謝して受ける恵みの時であります。ここに神の究極的な愛が人に提示され、贖罪としてイエスを主キリスト(メシア=救世主)と信じる者に無条件で与えられる恵みのしるしが、パンとブドウ酒(ブドウ汁)の聖餐であります。

プロテスタントのキリスト教会では、秘跡= sacramentと呼ばれるものが2つあります。(ちなみにカトリック教会では7つ数えます。)一つは、洗礼です。これはイエス様を信じ、自己中心から神中心の生き方へと人生で決心する事柄です。もう一つが、聖餐です。洗礼は一生に一度であるのに対して、聖餐は誕生日が巡るように、何回も神の目に見えるお言葉として味わうことができるのです。(目に見えない言葉としては、牧師が語る説教があります)どれも聖霊の神の働きによります。

キリスト教会では「罪」という言葉が使われます。罪は、神と人々に対して犯したものです。胸に手を当ててみると、思い当たることのあるのではないのでしょうか。イエス様はその罪のために世に人の姿を取ってこられたのです。そして、イエス様は今もあなたと契約を結びたいと願っておられます。私たちの人生で、神の無条件の愛と赦しを聖餐にあらわされたパンとブドウ酒(ブドウ汁)を通じて、お受けさせていただきたいと思います。

牧師 永松 清

B.Y.姉

毎週の礼拝に出席しています。(コロナが)怖いので、礼拝終わったらすぐ帰ります。今年の夏は暑くて暑くてたいへんでした。今年の2月に韓国へ帰ったけど、来年の2月は帰れるかわかりません。お母さんが生きていたときは年に二回帰ったけど、今は一回です。

祈ってほしいのは、日韓関係。自由に行き来できるように。日韓のコロナ、日韓の外交。

E.A.姉

YouTube 礼拝以前と今とで変わりなく過ごしています。違うのは外で日傘で人と距離をとりつつマスクを外して歩きます。建物へ入るときだけはマスクを。きょう(9月13日)のエイミーさんとお子さんたちのタンパリンダンスに涙が出ました。素晴らしかったです。

T.N兄

リハビリのためにデイケアに行き、外来にも通院しています。じっとしていたら足が動かなくなるので近所を歩いたりします。自転車は危険なので、買い物は時々、娘の車に乗せてもらって。食事は晩だけ弁当が届く。あとは息子が用意してくれる。YouTube 礼拝のチャットですか、あれは息子がやってくれた。早く、教会の皆さんに会いたいです。

M.M.姉

日曜日は、前もって淑子先生が週報の内容を電話でお知らせくださるので、それを確かめながら過ごしています。月報も届くとすぐ読んで、教会のこととか先生のお話(巻頭言)がよく分かるので楽しみ。

毎朝、日めくりカレンダーを見て始めるのが習慣。13日(日)箴言3:6「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、主はあなたの道筋をまっすぐにしてください。」が心に留まっていて、聖書の言葉に支えられていると感じます。

以前は木曜祈禱会、日曜礼拝、と歩けていたのに、コロナで自分の動きが止まっていて最近腰痛を感じるので、朝夕涼しくなってきたし歩くようにしています。水曜日は以前からの習い事(フラワーアレンジメント)に行き、少人数の会話、手の運動、頭の働きにいいと思って続けています。

Y.S.姉

仕事があっても仕事の予約時間の合間と礼拝の時間が重なると、YouTube で礼拝を守ることができ、幸いな時を過ごすことができました。

コロナの影響で家で過ごす時間が増え、いいことばかりでもありませんが、時間の組み立てと気持ちに余裕を持つことができ、幸いな時を過ごしています。

教会に足を運ばなくても、YouTube 礼拝で神様から1週間をはじめることができ、神様とご奉仕くださった兄姉に感謝します。

M.O.兄

毎日仕事や畑で頑張っています。コロナで教会に行かれないのが残念ですが、礼拝配信で感謝しています。チャットで連絡出来るのが有り難いです。感謝しています。礼拝に参加する日待ち望んでいます。お身体にお気をつけてください。

S.T.姉

YouTube でも礼拝が見られるのは良いことだと思います。ただ、機体(携帯端末)の温度が上がると落ちてしまうので冷やしながら見えています。(笑)

いかがお過ごしですか？

礼拝は、新型コロナ感染防止として8月2日からYouTube で配信しています。なかなか会えなくなった皆さんの近況を電話取材やメールで寄せていただきました。月報紙上交流会です。(敬称略)(9/27より通常礼拝が再開しました!!)

K.F.姉

YouTube 礼拝は、中継してくださっている役員の方々に感謝します。始めた当初よりも、中継の質はずっと良いものになってきていると思います。賛美がたまにとでも歌いにくいものがあります。音質が良くなっているとはいえ、家で見ていようとどうしても伴奏が聞き取りにくくなるため、普段よりも歌いやすい曲を選んでいただきたいと思います。

日曜教会に行けないのはさびしいのですが、往復の時間がない分遅くまで寝ていられるのがうれしいです。午後の教会の用事がなくて、まるまる自分たちの時間として使えるため、十分休息を取り、リフレッシュできる日曜になっています。

日曜は必ず教会に行き、礼拝後みんなでごはんを食べ、教会の用事をして帰るといのが何の疑問も抱かない、長年のルーチンになっていました。それが突然断たれ、当初は混乱もしましたし、とても寂しくも思いました。しかし、いまとなってはそれほど重要でない用事もたくさんあったのかなとも思います。コロナは大変な出来事でしたが、本当に必要なこと、そうでないことをはっきり見せて、必要な休息を与え、また新しいことに取り組む力を与えてくださる神の御心と感謝しています

S.O.姉

家において、同一時間に礼拝が守れる便利さに感謝しています。礼拝時間は聖別して、集中するようにしています。しかし他の兄弟姉妹の向き合い方が分からないため、信仰の継続を祈っています。また、教会会計の運営にも影響方ないことを祈っています。

外出の機会も来客も減り、子供たちも帰省しなくなり、生活に張りが無くなりました。楽になった気持ちと面倒なことは回避したいリズムさが身についてきました。目的もなく過ごす時間や日々をどうしようもなく思ったり、自分優先できる快適さも感じたりしています。

YouTube を見る機会が増え、様々な人の発信技術を通して、間接的な出会いに感動することが度々ありますね。

M.M.姉

いつもユーチューブで礼拝を捧げさせて頂いていて、とてもありがたく思っています。というのは先月突然息子がコロナ感染者の濃厚接触者となり、PCR検査を受けました。結果は陰性でしたが、私と夫は共に福祉施設で勤務している為、2週間の出勤停止となりました。私はその時、リモートで礼拝を行っていてよかったと思えました。それから、ユーチューブ礼拝のいい所はライブ礼拝後、いつでも何度でも見る事が出来ることで毎日聖書の解き明かしをメールで送ってくださる永松先生、中継してくださるK.Y.兄、教会役員の方々に心から感謝しています。

Sご一家のみなさん、東京の生活の祝福をお祈りします！



三人でタンパリンダンスを披露



9月13日礼拝後挨拶するご一家。

紙上演覧会

三野恵子さんの作品が岡山駅地下壱番街に展示されました。見ていない方のために何点か掲載します！



岡山ナザレン教会の皆さまへ

先日は永松先生はじめ、皆さまから数々の温かいお言葉をいただき、感謝の思いでいっぱいです。これまで皆さまと礼拝をご一緒させていただけたことは、私にとって貴重な財産です。マレーシアの伝統的なタンパリンダンスを発表できたのも忘れられない思い出となりました。淑子先生に感謝いたします。

ナザレン教会の皆様方に会えたことで、私たち夫婦の岡山での生活は素晴らしく実り多いものになりました。子供達にとっても美しい思い出となっております。HちゃんとMちゃんが大好きで毎週元気に通っていた教会学校では、聖書を通し、神を愛する事、人を愛する事を学ばせていただきました。いまでは毎日、夕食前に2人が競って感謝の祈りを捧げております。

主人の異動に伴い東京に行くことになりましたが、新天地でも家族と共に人生の次なる挑戦的な道を歩み続けます。

教会の皆さまには、5年間たいへんお世話になりました。皆さまのご健康と、ナザレン教会の今後の宣教の前進と発展をお祈りしています。そして神さまへ感謝の祈りを捧げます。我々は遠く離れていても、いつかまた会うことがすでに約束されているのですから！

E.S.姉